

SPECIAL REPORT

今年も盛況だった「六本木牧場」

.....
 ～ 酪農の楽しさと牛乳のおいしさを、ギューツと！ ～

本会議は5月27日、「六本木牧場」イベントを六本木ヒルズアリーナで開催した。本イベントは毎年「牛乳の日（6月1日）、牛乳月間（6月）」の中央PRイベントとして開催しており、今回で4回目となる。酪農家と生活者との交流の場と位置付けられており、日本酪農と国産の牛乳・乳製品の重要性を生活者にアピールするとともに、安全・安心な牛乳・乳製品が日本全国の酪農家や酪農関係者の思いを経て届くことを伝える機会となった。

今年も指定生乳生産者団体（指定団体）が生乳流通に果たす役割を生活者への訴求ポイントとし、「酪農クイズラリー」、「牧場劇場（紙芝居）」、「酪農パネル展示」等を行った。特に「酪農クイズラリー」においては、昨年に引き続き、クイズの問題を書いたビブスを酪農家に着用していただき、生活者が酪農家と交流しながら回答を導き出すよう工夫した。



酪農クイズラリー



酪農パネル展示

さらに、その他体験コンテンツとして、「模型の牛による搾乳体験」、「手作りバター教室」、「ふかふか牧草ベッドで遊ぼう」、「搾乳体験ゲーム（ニンテンドースイッチ）」、「フォトコーナー」等も準備し、日本酪農の楽しさや魅力を来場者に伝えた。併せて、「ご当地牛乳販売」や地域交流牧場全国連絡会に協力いただいた「全国ご当地牧場アイスクリーム販売」等も行い、来場者から好評を得た。



模型の牛による搾乳体験



ふかふか牧草ベッドで遊ぼう



フォトコーナー

なお、昨年から実施している「酪農男前コンテスト」は全国から酪農家・指定団体職員10名のエントリーがあり、イベント当日と事前のSNSにおいて約3,000の投票を得るとともにメディアからの問合せも増加するなど、世間の興味・関心を多く集めた。



酪農男前コンテスト

加えて、多くのメディア露出により全国の生活者に本イベントの趣旨を伝えるため、著名人で好感度の高いレスリング選手・吉田沙保里さんをゲストに迎え、酪農家とのトークショーを通じて日本の酪農家の努力や工夫、指定団体を通じた生乳流通の仕組み等を広く訴求した。

トークショーでは、千葉県の酪農家・須藤健太さんから「酪農家が搾った生乳は、指定団体が検査して乳業メーカーに販売してくれる。酪農家だけでは牛乳を安定供給できない」と話があり、吉田選手から「牛乳は大好きで毎日飲んでいる。ケガが少ないのは牛乳のおかげ。牛乳が私たちに届くまでにはチームワークが大切だとわかった」とコメントがあった。

また、吉田選手監修の「最強カワイイミルク」(牛乳

に紅茶、タピオカを入れ、生クリームや食用バラ等をトッピングしたスペシャルドリンク)の紹介や、吉田選手による模型の牛での搾乳体験等を通じて、メディアへの露出を図った。

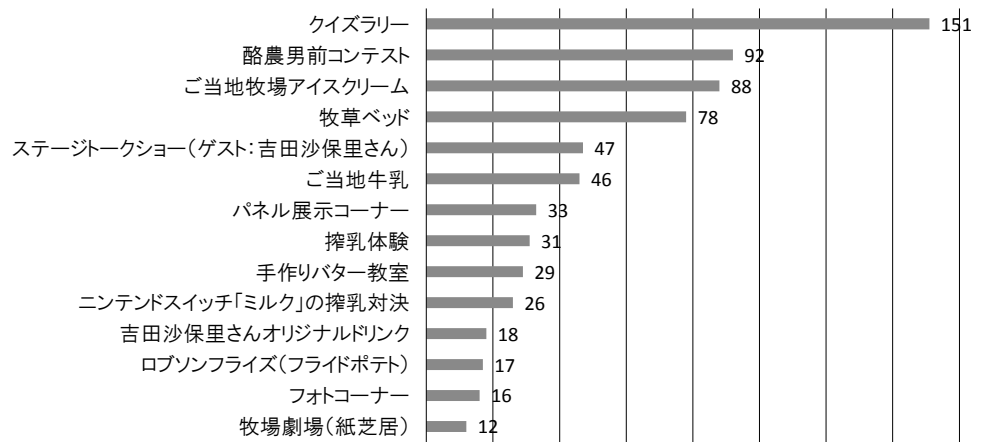


吉田選手も「牛乳で乾杯！」

イベント当日は天候にも恵まれ、約6,500名の来場があり、テレビを含む30社のメディアから取材があった。指定団体を通じて全国の酪農家14名に本イベントに協力をいただくとともに、関東生乳販売農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会、全国酪農業協同組合連合会にも職員の派遣等、協力をいただいた。この場を借りて深くお礼申し上げる。



スタッフ全員集合



印象に残った企画 (アンケート調査結果)